

令和3年度 事業計画

一般社団法人 日本エレクトロニクスショー協会

令和3年度 事業計画

一般社団法人 日本エレクトロニクスショー協会

1. 協会活動方針

令和3年度の協会活動方針は、以下の通りとする。

- (1)当協会は、「CEATEC」「Inter BEE」の維持と発展を目的とし、主催者との連携をさらに強化し、出展企業のビジネス機会の創出に貢献することを目指し、最大限にリソースを活用出来るよう選択と集中を図り、企画、運営に努める。
また、Society 5.0 を基軸に、業界団体が主催する国際ビジネス展示会としての機能強化に取り組む。
さらに、「CEATEC」「Inter BEE」の会場開催に際し、新型コロナウイルスの感染防止対策を来場者、出展者、運営に従事する関係者等の、展示会に関わるすべての関係者に向けて提供すべく、新たな運営様式を定義し、会場運営に臨む。
- (2)「CEATEC」は、主催者が CEATE 実施協議会の体制から、一般社団法人電子情報技術産業協会（JEITA）の一団体となることから、主催者との連携を改めて強化し、Society 5.0 の展示会として日本の成長戦略や未来を世界に向けて発信する。
- (3)「Inter BEE」は、主催者としての方針を改めて確認とその連携を更に強化し、「メディア総合イベント」へと発展を目指し、新企画等、各種の取り組みを加速させる。
- (4)会員企業ならびに出展企業への更なるサービスの向上に努めるとともに、事務の効率化と合理化を推進する。

2. 協会運営事業

総会、理事会、運営役員会等を次の通り開催し、当協会の運営に関する重要事項を審議し、各種事業を円滑に実施する。

(1) 通常総会

- ・第16回通常総会 : 令和3年6月2日(水)

(2) 理事会

- ・第53回書面理事会 : 令和3年5月13日(木)
- ・第54回書面理事会 : 令和3年6月2日(水)
- ・第55回理事会 : 令和3年11月22日(月)
- ・第56回理事会 : 令和4年3月29日(火)

(3) 運営役員会

理事会への対応を始め当協会の重要案件審議のため、適時開催とする。

3. 展示会事業

3-1 「CEATEC 2021」

(1) Cyber（オンライン会場）と Physical（幕張メッセ会場）の優位性をシームレスに統合する革新的展示会として開催する。

本年度で22回目を迎え、CPS/IoTの革新技術が集結する展示会として、Society 5.0の実現に向けてあらゆる産業・業種による「共創」を世界に向けて発信するために、開催テーマは「つながる社会、共創する未来」推進スローガンを「ニューノーマル社会と共に歩むCEATEC」とする。

また、幕張メッセ会場においては、新型コロナウイルスの感染防止対策を来場者、出展者、運営に従事する関係者等、CEATECに関与するすべての関係者に向けて提供すべく、新たな運営スタイルを定義し、会場運営に臨む。

さらに、2018年より強化対象としてきた国際化について、更なる国際色豊かな情報発信ができるよう国内外の政府機関、団体等と連携を図り、国際展示会としての認知度の向上を実現する。

①開催基本計画

あらゆる産業・業種による「CPS/IoT」と「共創」をテーマとしたビジネス創出のための、人と技術・情報が一堂に会する場とし、経済発展と社会的課題の解決を両立する「超スマート社会(Society 5.0)」の実現を目指す。

開催方法は、オンライン会場と幕張メッセ会場の優位性をシームレスに統合し、オンラインの特徴を活かすべく、5月より情報発信を行う。さらに、幕張会場での会期終了後もオンラインでの情報発信を継続し、開催前、会期中、会期後の3段階方式で情報発信を行うことにより、更なる価値向上と出展による成果の向上を目指す。

オンライン会場の開催期間は5月下旬～11月30日、幕張メッセ会場の会期は10月19日から10月22日の4日間。

②出展区分/エリア構成

【オンライン会場】

「ONLINE ブース」オンライン会場における出展の形態。

「ONLINE コンファレンス」オンライン会場におけるコンファレンスのみに登壇する形態。

【幕張メッセ会場】

「トータルソリューション」Society 5.0の実現に向けた、あらゆるソリューションや製品全般を展開するエリア。

「デバイス&テクノロジー」Society 5.0の実現を支える電子部品や電子デバイスおよびソフトウェアなどのテクノロジーを展開するエリア。

「テーマエリア」特定の分野や産業、マーケットを革新的に変革するソリューションや製品を展開するエリア。

「Co-Creation PARK」未来を担う国内外のスタートアップ企業および海外諸機関のパビリオンを複合的に展開する企画エリア。

③特別企画展示

「スーパーシティ／スマートシティ」を体現する世界最先端のまちづくり

日本国内におけるスーパーシティ／スマートシティの実現に資する最先端の技術やサービスを紹介し、新しいビジネスパートナーと出会い、共創の場として促す。
地方自治体との連携による初のサテライト展示の実現を目指す。

「5G オープンラボ」によるDXの推進

5G/ローカル5Gは多様な産業分野においてDX推進の基盤になる可能性あり、今後ローカル5Gの本格運用に向けて、実証実験やオープンラボの設立が相次いでおり、このラボを拠点とし、事業者やパートナー会社等が情報発信を行い、新たな共創の場として促す。

④コンファレンス

本年のコンファレンスは、オンラインでの開催を主体とし、情報発信のプラットフォームとしてその情報価値を高め、国内外企業、密接に関係する産業、さらには政府や地方自治体などと共創を図り、新たなビジネスの創出に貢献する。

また、会期を最大限に有効化すべく、開催前・会期中・会期後での情報発信を行い、価値向上を図る。

さらには、プログラムにテーマを定め、メッセージ性を明確化し、それぞれの注目度を高める。

オンラインの優位性を効果的に活用すべく、特にキーノートプログラムは海外からの登壇の拡大を目指す。

⑤海外出展者／海外来場者／プレスの誘致

各国在日大使館、各国業界団体（主催団体のカウンターパート団体）、政府広報機関、CEATECの海外パートナーを通じ、告知活動と来場誘致などSNSなどのデジタルメディアを中心に図る。

また、欧米およびアジアの有力メディアを対象に、海外メディアによる取材の拡大を実現する。

(2)CEATEC 2021の企画・運営に伴い、主催団体内に新たに設置される委員会の運営に務める。

3-2「Inter BEE 2021」

(1) 11月に「Inter BEE 2021」を幕張メッセ(千葉市美浜区)にて開催する。

新型コロナウイルスの感染防止対策を、来場者、出展者、運営に従事する関係者等、InterBEEに関与するすべての関係者に向けて提案すべく、新たな運営様式を定義し、実行の上、会場運営に臨む。

本年で57回目を迎え、更なるメディア総合イベントへの発展に向けた各種の取組みを加速させる。会期は、11月17日(水)より19日(金)の3日間。

①開催基本計画

超スマート社会「Society 5.0」の実現に向けて、音響・映像・放送・通信の垣根を超え、メディア&エンターテインメントの産業領域を広げて進化を加速、新次元でのビジネスを拓く。

メディア&エンターテインメント産業の新たなユーザー体験を提示する場として、

「コンテンツ」を中核に位置づけ、「つくる（制作）」「おくる（伝送）」「うける（体験）」の要素を網羅した「メディア総合イベント」に発展することを目指す。

②出展部門・構成

「プロオーディオ部門」

最新技術と多彩な高品質システム・製品が集結、国内最大のプロユース音響ビジネスの場。

「映像表現・プロライティング部門」

エンターテインメントの領域と世界を広げる、新たなメディア体験の発信とビジネスの場。

「映像制作・放送関連機材部門」

進化を続ける映像と放送プロダクション、最大・最先端の技術・システム・製品の提案空間。

「ICT・クロスメディア部門」

広がるメディアコミュニケーションが一堂に会し、放送と通信の連携・融合の最前線。

③特別企画

「INTER BEE IGNITION」

VR（仮想現実）、AR（拡張現実）、ホログラム等の映像表現技術や、ライブエンターテインメント技術を集め、新たな映像体験を訴求する企画を展開する。

「INTER BEE CONNECTED」

番組同時配信、キー局のネット戦略、OTT 最新動向、視聴計測技術等、メディアビジネスの最新動向を集約して情報交流を促進する展示とセッションを展開する。

「INTER BEE EXPERIENCE」

SR スピーカー体験デモを展開し、来場者が体感できる。

「INTER BEE CREATIVE」

ヒット作品のメイキング映像等を本企画限定で披露し、第一線で活躍する監督やクリエイターによる制作秘話や、最新の制作ツールの活用事例等を紹介する。

「INTER BEE 5G」

超高精細映像伝送、高品質リアルタイム中継をはじめメディアとエンターテインメントの新たなユーザー体験を提案・紹介する。

「INTER BEE IP PAVILION」

IP 実機接続デモ、4K/HD 対応フル IP 中継車など電装の実例を紹介する。

④デジタルコンテンツ EXPO 2021 を同時開催

最先端コンテンツ技術の国際イベント「デジタルコンテンツ EXPO 2021」（主催：一般財団法人デジタルコンテンツ協会）を昨年に引き続き、Inter BEE 会場内で同時開催する。コンテンツの制作支援や表現を豊かにする多様な技術を紹介し、未来を体験いただくとともに、コンテンツ技術のメディア&エンターテインメント分野への活用を促進させる。

- (2) 「Inter BEE 2021 実行委員会」を年間6回開催し、昨年のオンライン開催のノウハウを有効に活用し、本年の取組みに反映させる。効率的な BtoB 展示会の機能をさらに強化すべく、実行・推進する。また、実行委員会の傘下に企画ワーキンググループを設置

し、国際会議場にて実施する講演会を「INTER BEE FORUM」として、Inter BEE が指し示すべき全体の方向性やテーマを検討しプログラム化する。また、各特別企画の推進をタスクグループ化し、企画の横連携、棲み分け、情報共有の場として活用する。さらに、実行委員会の検討枠外で実施される民放技術報告会とも連携を図る機関とする。

(3) コンファレンス

オンラインでの開催を中心に下記のコンファレンスの実施に向けた取組み行う。

- ①INTER BEE FORUM 基調講演
- ②INTER BEE FORUM 特別講演
- ③INTER BEE FORUM テクニカルセッション

3-3 「The 9th After NAB Show Tokyo 2021」

5月の「The 9th After NAB Show Tokyo 2021」は、米国で開催される「NAB Show 2021」は、毎年開催していた4月から2021年は10月に開催日程の変更したことに伴い、「After NAB Show Tokyo」の開催は、時期的に困難なことから、当協会と共に主催するNAB日本代表事務所(映像新聞社)と協議の上、中止とする。

4. 国際連携活動

当協会が運営する展示会の国際化の促進を図るため、次の海外関連展示会の主催団体等と広告、プレスコンファレンス、出展誘致などの相互協力を行うとともに、各展示会の情報収集活動を行う。

①CEATEC グローバルパートナー

Consumer Technology Association (CTA) / CES (USA)

Messe Berlin / IFA (Germany)

Plug & Play Japan

②Inter BEE グローバルパートナー

Asia-Pacific Broadcasting Union (ABU)

International Association of Broadcasting Manufacturers (IABM)

Taiwan Electrical and Electronic Manufacturers' Association (TEEMA)

National Association of Broadcasters (NAB), Las Vegas

International Broadcasting Convention (IBC), Amsterdam

China Content Broadcasting Network (CCBN), Shanghai

Beijing International Radio, TV & Film Equipment Exhibition (BIRTV)

Korea International Broadcast, Audio & Lighting Equipment Show (KOBA)

Broadcast Asia / Avia

Broadcast India / SET

Prolight + Sound Guangzhou / Prolight + Sound Shanghai

以上